

令和7年度教員長期研修

研修種目 算数科教育

教職員の主体性を高める「学び合いのコミュニティ」づくり

ーノンフォーマルな場「たのカフェS」の実践を通してー



三原市立田野浦小学校
加藤 桃花

研究の基本的な考え方

所属校の現状

特に授業づくりについて



明るく
前向き



主体性を
発揮する



対話から
気づき・学び合う



主体性を高める学び合いのコミュニティとは

学び合いの
コミュニティ

対話・気づき・学び合う



行動へ

繰り返す
ことで



主体性



「主体性」、 「学び合いのコミュニティ」 とは

主体性

自ら好奇心をもち、積極的に取り組んだり、自ら振り返って次につなげたりすること。またそういった心の構えがある状態。

学び合いの コミュニティ

対話を通じた気づきを大切にし、その気づきから学び合う場・集団。

【参考】 独立行政法人教職員支援機構（令和6年）「「研修観の転換」に向けたNITSからの提案（第一次）～豊かな気づきの醸成～」
中原淳・長岡健（2009）「ダイアログ 対話する組織」
浅海健一郎（1999）「子どもの「主体性尺度」作成の試み」

たのカフェ S

「たの」…田野浦小学校、楽しい 「S」…算数



算数に関わることについて、気楽に対話をする場

「たのカフェS」 5つの工夫

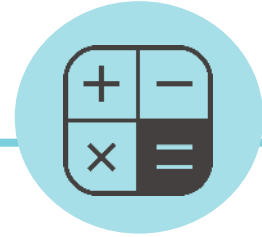
「たのカフェS」 5つの工夫



場の設定



心理的安全性
の確保



算数アクティビティ
の実施



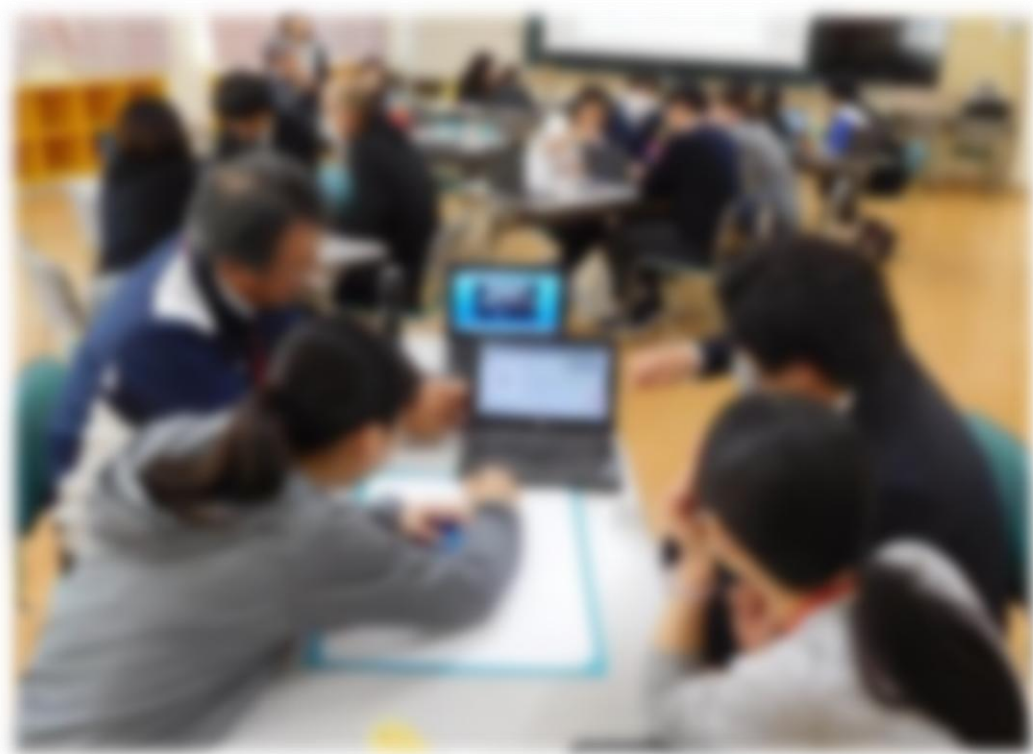
テーマ設定



振り返り



場の設定



30分間で実施

毎回のくじで
決まる3~4人

ランダムな
机の配置



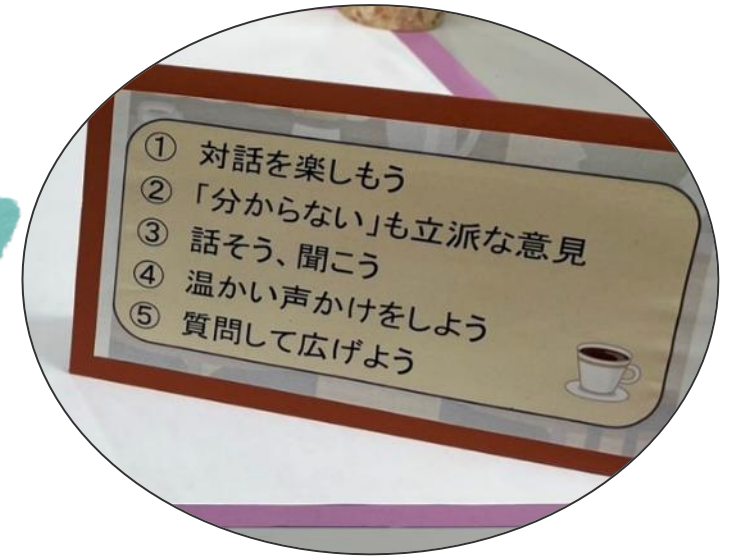
気楽に対話をする場



心理的安全性の確保

たのカフェS 5つのマナー

- ① 対話を楽しもう
- ② 「分からない」も立派な意見
- ③ 話そう、聞こう
- ④ 温かい声かけをしよう
- ⑤ 質問して広げよう



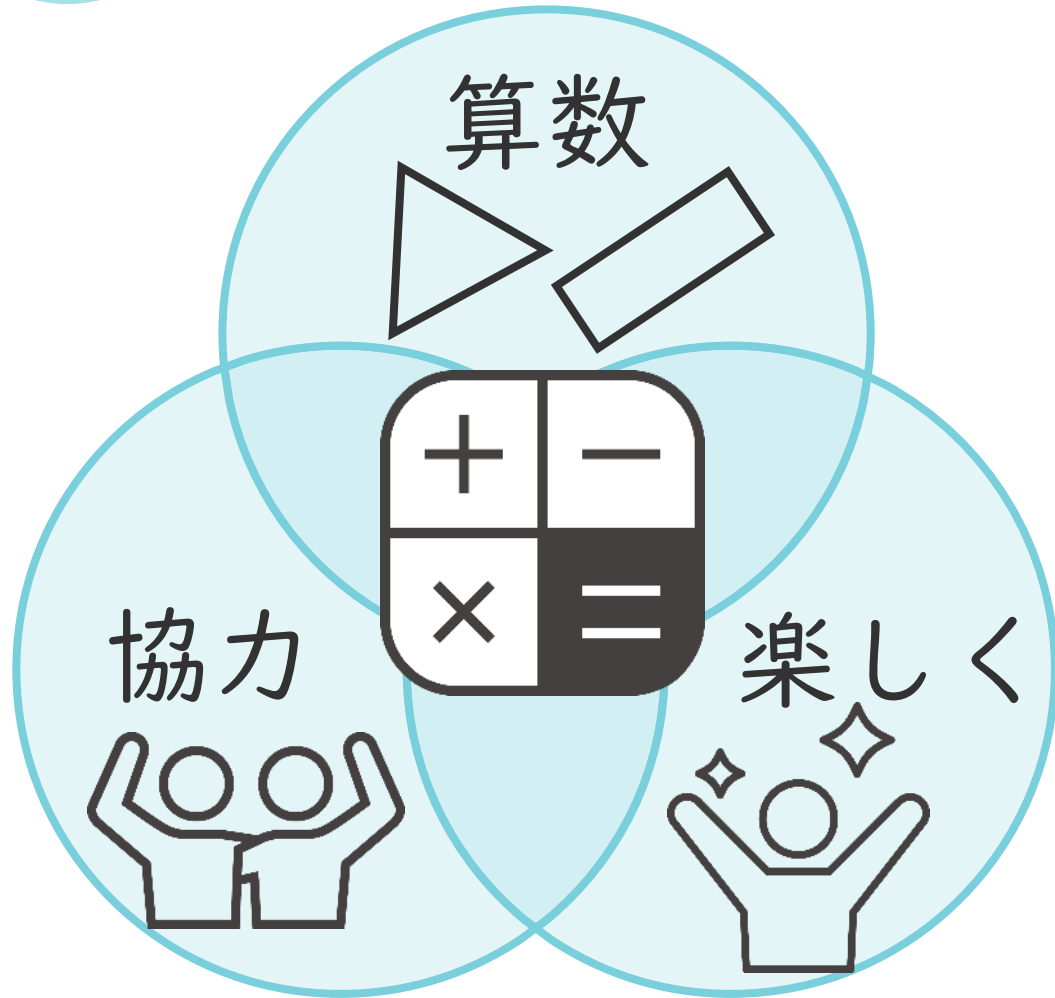
安心して
対話に参加

【参考】 白鳥史也・石上靖芳（2023）「教職員集団の同僚性を育むための開発的実践—カフェタイムの取組を通して—」

ちよんせいこ（2022）「13歳からのファシリテーション クラスで、学校で、社会で役立つコミュニケーション力が身につく本」



算数アクティビティの実施



例：さがし算チャレンジ
たして10ババ抜き
九九チャレンジ
図形伝言ゲーム



- ・ 算数について対話をする雰囲気
- ・ よさに気づき実践



テーマ設定

事前
アンケート

対話の
内容

振り返り
記述



対話が広がりに
「～したい！」
を引き出す

キーワードの組み合わせ

例

主体的



導入



学びをつなぐ

→ 共通のキーワード



テーマ設定

学びをつなぐ

数学的な見方・考え方の
つながりを意識した系統性の
ある授業づくりが重要です！



田野浦小学校元校長
三原市教育委員会教育委員
森谷 浩 氏

共通のイメージ



先生方



振り返り

大切だと思いました。

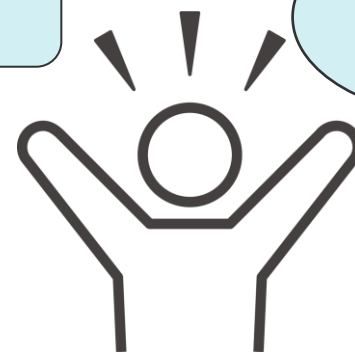
児童が充実感を感じるのは「分かった、できた」時が、児童によって充実感を感じる段階が違っていました。今、自由進度学習などの授業形態も出てきていますが、どのようなねらい・意図をもって授業をつくるかが大切だと思いました。

満足感について話し合い、自力解決させることの大切さに繋がりました。だから、自力解決させるために、児童の実態を捉え、個別で対応しきれないときは、難しいと考えている児童を呼びかけて助言するなど、取組をしていきたいです。

児童が授業の中で充実感を得るために、児童同士のつながりが必要だと気づきました。例えば、発表リレーのようにつないだり、グループを設けたりするなど協働できる時間が必要だなと感じました。

取組をしていきたいです。

共有



なるほど!



- ・ 「～したい！」と実践のきっかけ
- ・ 他者の振り返りから学ぶ

取組の実際

実施内容

回	日時	タイトル	対話テーマ
1	10月30日 14:50~15:20	ようこそ！ たのカフェS！	自分たちの思いからスタート
2	11月6日 14:50~15:20	たのカフェSで 語り合おう！	主体的×導入×学びをつなぐ
3	11月25日 15:50~16:20		充実感・満足感×個別と協働× 学びをつなぐ
4	12月4日 14:50~15:20		個人差×学び合い×学びをつなぐ
5	12月23日 15:40~16:10	飛び出せ！ たのカフェS！	たのカフェS×私の成長×私たちの成長

「たのカフェS」各回の流れ

算数
アクティビティ



5分

テーマに沿った
対話



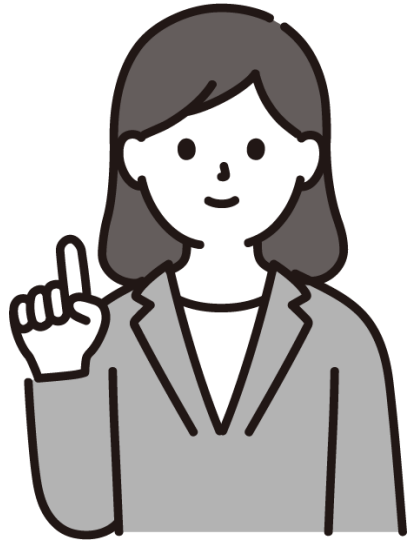
20分

振り返り



5分

事前説明【10月27日】



- ・算数について気楽に対話をする場
- ・結論を出すことを目的とする場ではない
- ・今の先生方の素敵な雰囲気大切にしていきたい

「主体性・集団づくり」を伝えずに実践

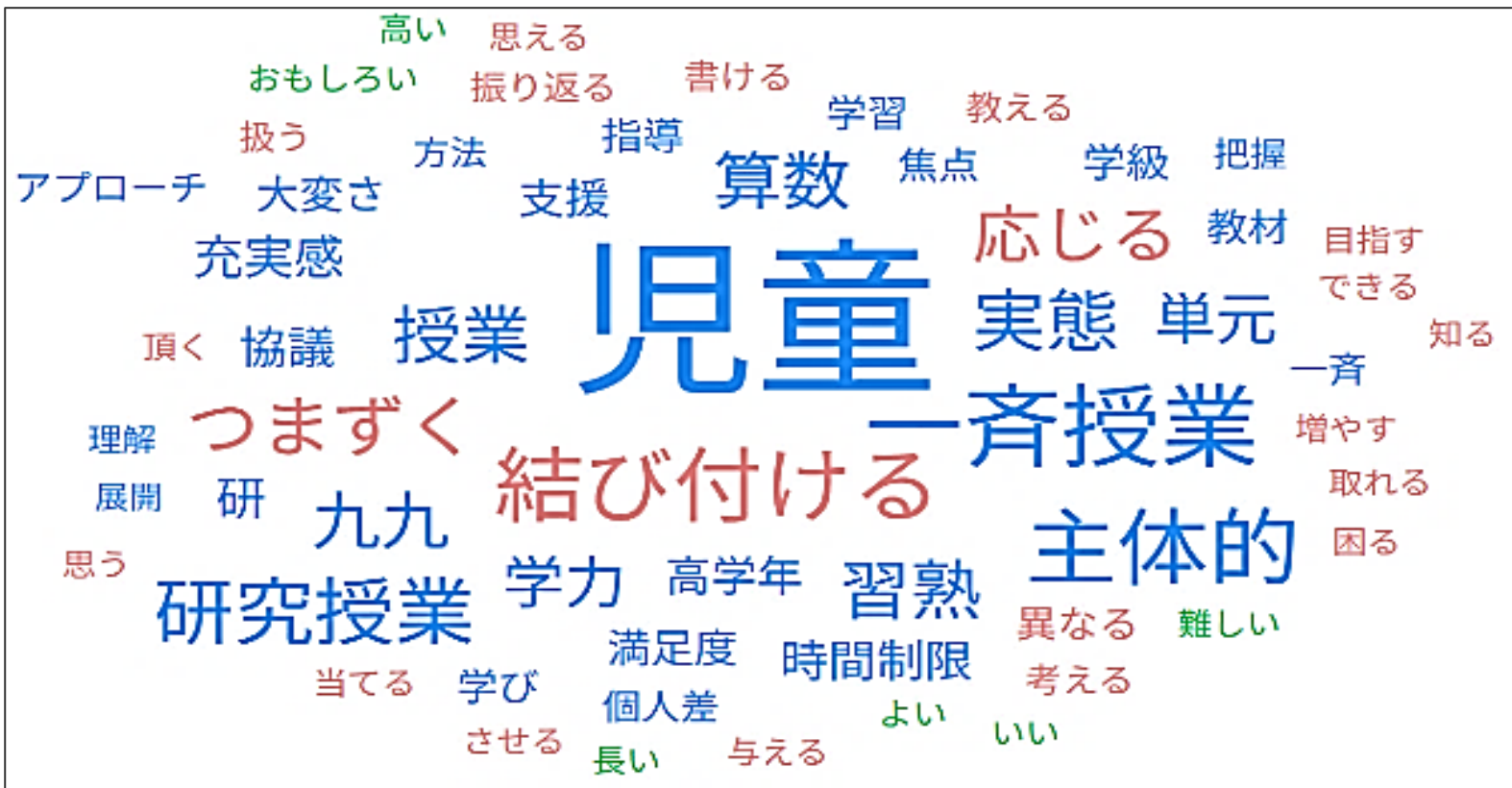
第1回【10月30日】



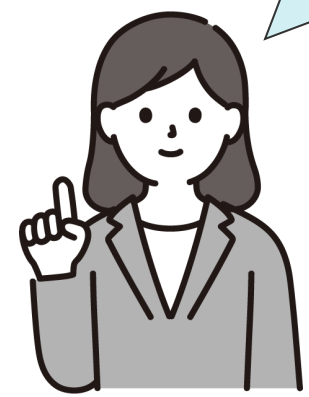
テーマに沿った対話

自分たちの思いからスタート

算数科の学習に関わって「困っていること」や「知りたいこと」、「みんなで考えたいこと」



第2～4回のテーマ設定に反映



※ユーザーローカルA Iテキストマイニングによる分析 (<https://textmining.userlocal.jp/>)

第1回【10月30日】



テーマに沿った対話

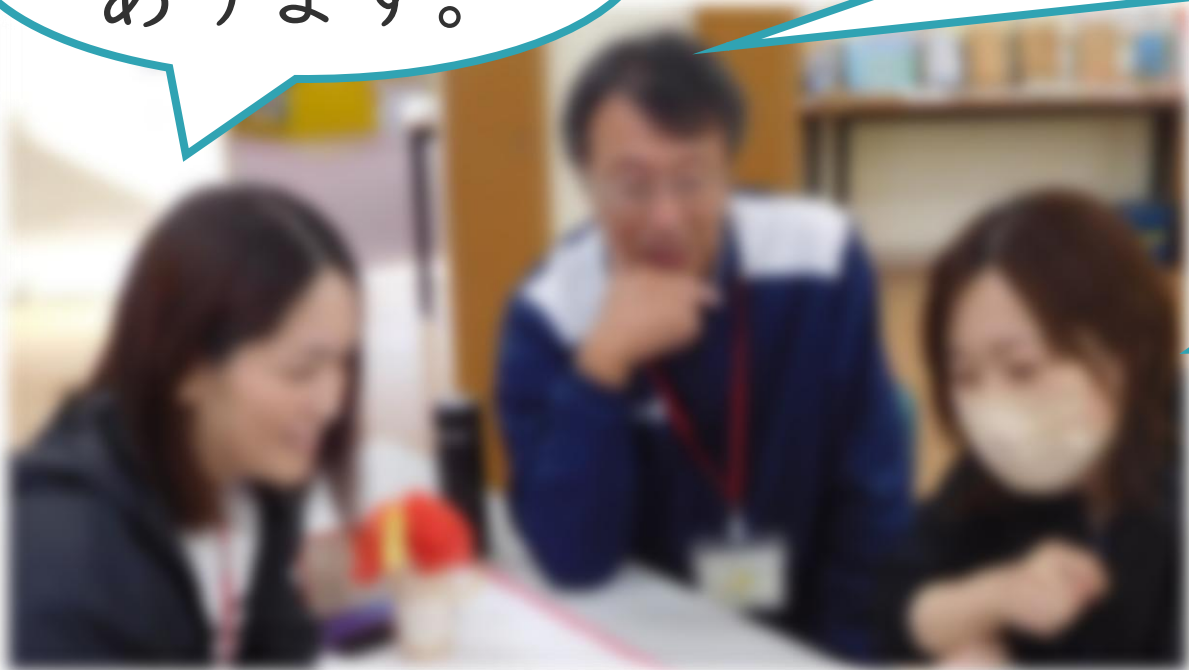
自分たちの思いからスタート

同じ悩みが
あります。

個に応じた指導の在り方って…。

学習面に
困り感をもつ児童の
主体的な姿って？

対話を通して
自分自身を振り返る



第1回【10月30日】



自分だけじゃないと思うだけで少し気持ちは楽になります。

次も他の先生方と交流するのが楽しみです。



対話をすることの楽しさを感じた



主体性を高める

学び合いの
コミュニティ



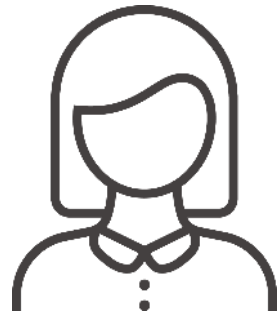
第1回【10月30日】



ミドルリーダーとして

結論や行動目標を
求めよう！

自己決定の機会を奪う
ことなく、支えていこう！



これまでの私



第2回【11月6日】



テーマに沿った対話

主体的×導入×学びをつなぐ

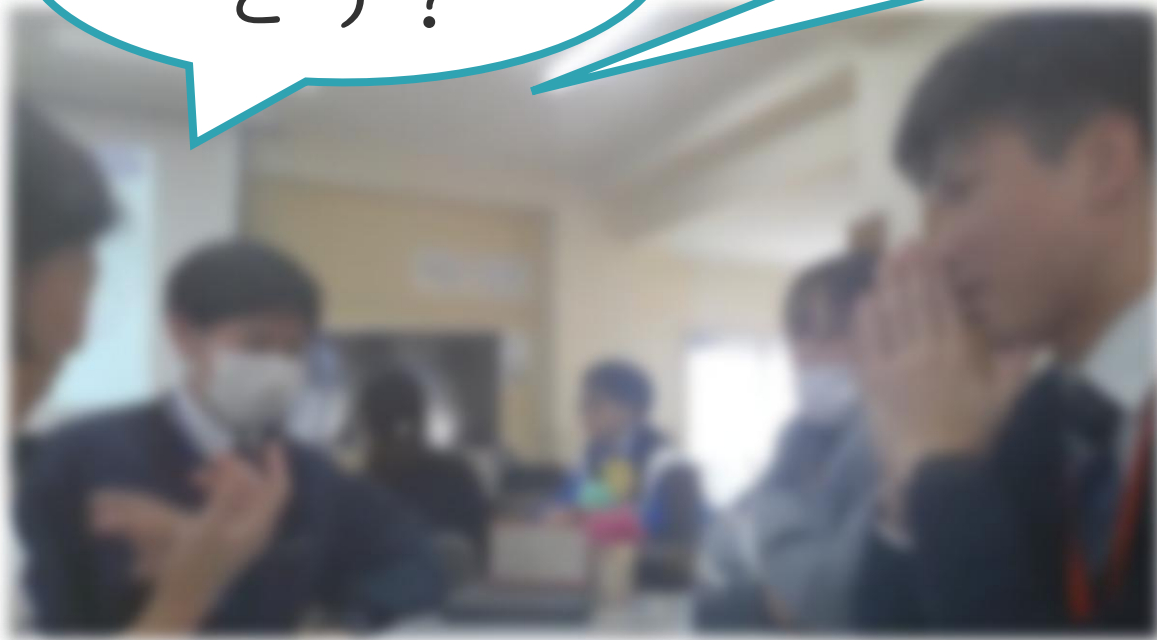
こんなのは
どう？

明日やってみよう！

具体的な話

具体的なアイデア

対話を通して
気づきや学びを得る



第2回【11月6日】



単元を通して主体性がもてるように、導入や学びのつながりを意識しなければいけないと思った。

意欲を持続させることの難しさも共有できたので、その工夫を日々の中でしていきたい。

心の構えとしての



第3回も同様に「～したい。」との記述が複数有り

第3回【11月25日】



ミドルリーダーとして

心の構えとしての



学力の差が大きいことが
課題だよね。

結局、九九を覚えられて
いるかだよね。

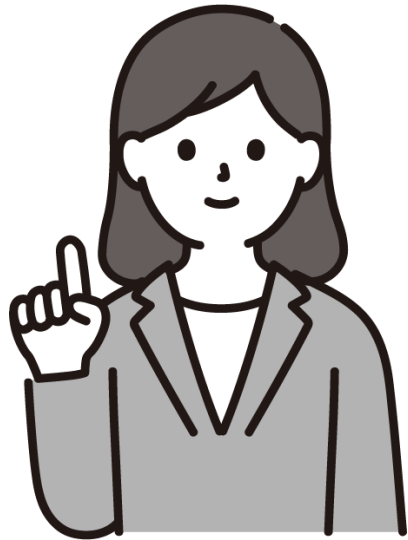


第3回【11月25日】



ミドルリーダーとして

第4回から、キーワードについて**補足説明**をしよう！



- ・ **自分事**として捉えて
一人一人の気付きや学びが**増える**こと
- ・ 悩みや課題にとどまらず
話が**広がる**こと

第4回【12月4日】



ミドルリーダーとして

個人差×学び合い×学びをつなぐ

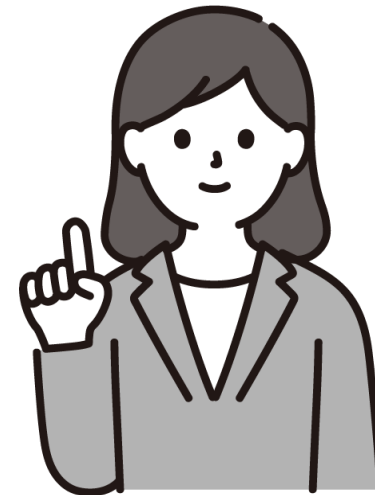
時間が
無い…。

クラスの人数が
多い…。



後ろ向きな内容に
なっていることに悩む

学級の児童のために
取り組んでいることが
あるのでは？

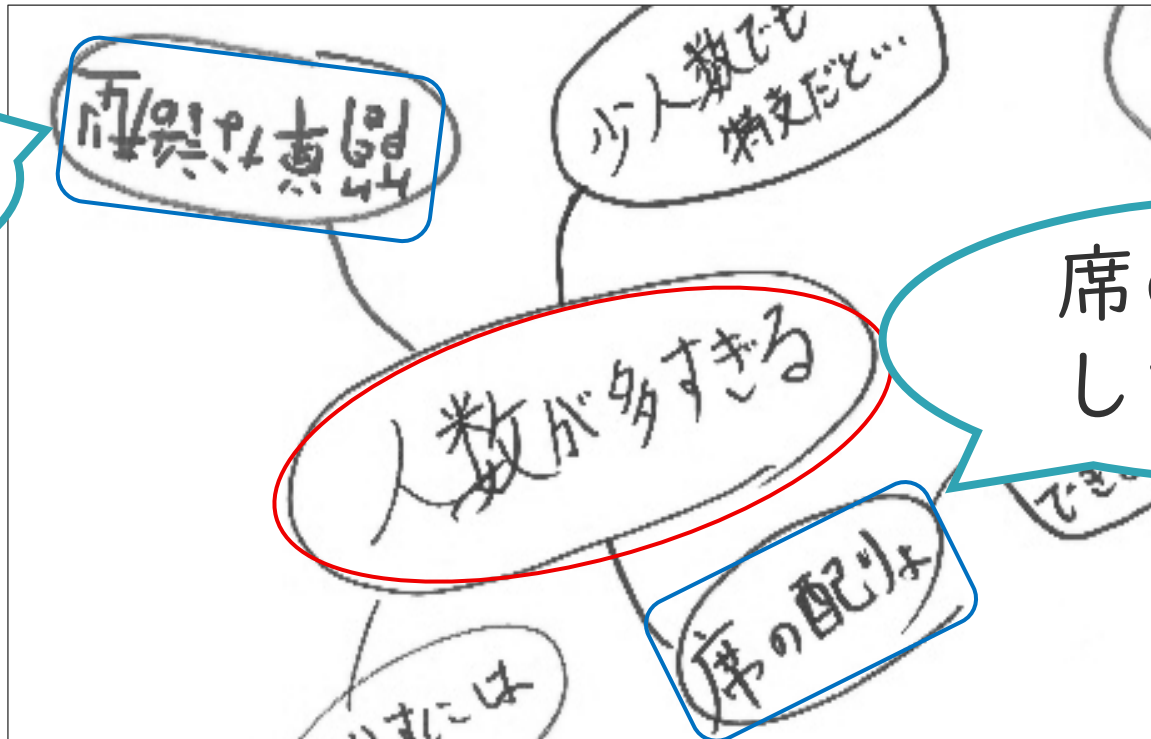


第4回【12月4日】

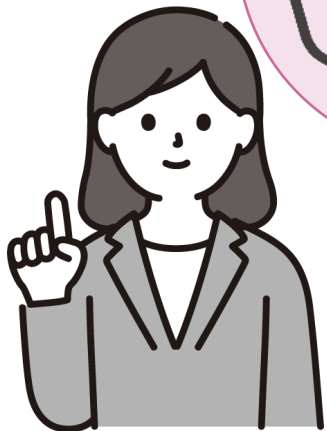


ミドルリーダーとして

話型を示しているな。



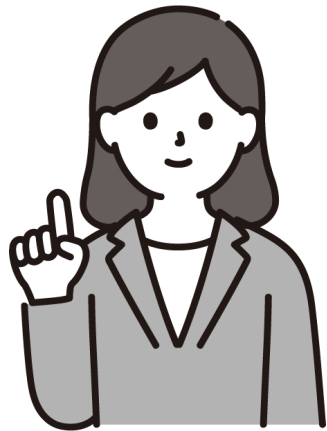
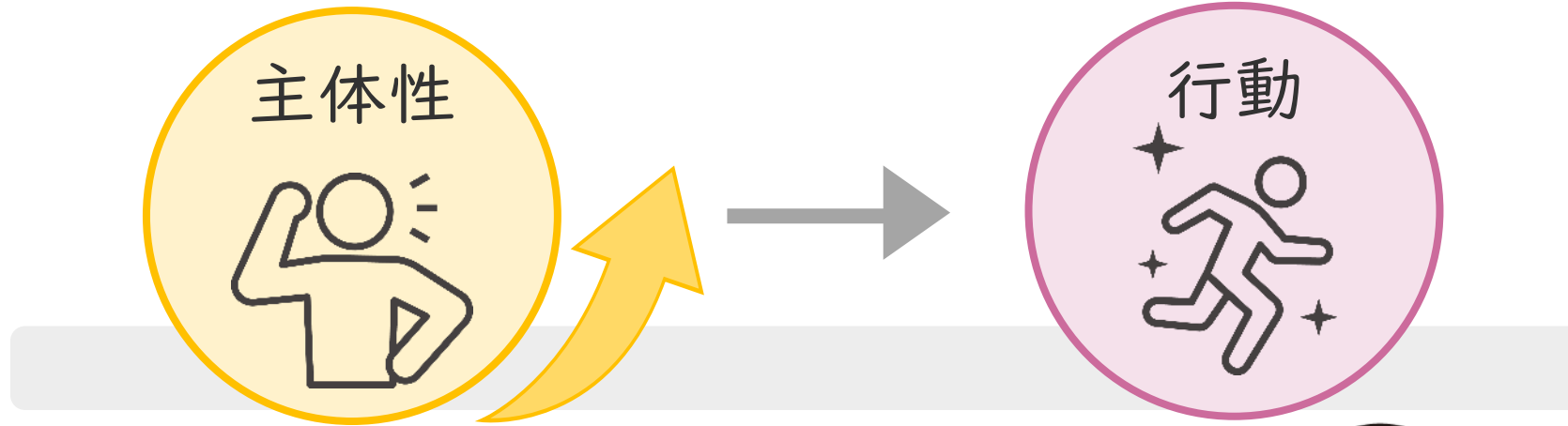
席の配慮もしている。



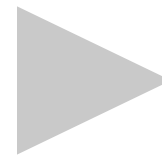
対話の方向を変えようとするのではなく、
支える関わり方が有効

ミドルリーダーとの連携【12月17日】

心の構えとしての



後押しが
必要！



3名のミドルリーダーと
それぞれ連携

ミドルリーダーとの連携【12月17日】



連携した内容

- ・「たのカフェS」のねらい
- ・「たのカフェS」のよさ
- ・今ある取組へのつながりの可能性



具体的な提案、
〇〇をやりましょう！

主体性を高め、
発揮するという視点

ミドルリーダーとの連携【12月17日】

前例踏襲ではなく、失敗してもいいから
「～した！」が出てきてほしいと思っていた。

こういう話は大切だと思うけど、時間が無い
からとあきらめたり逃げたりしていた。



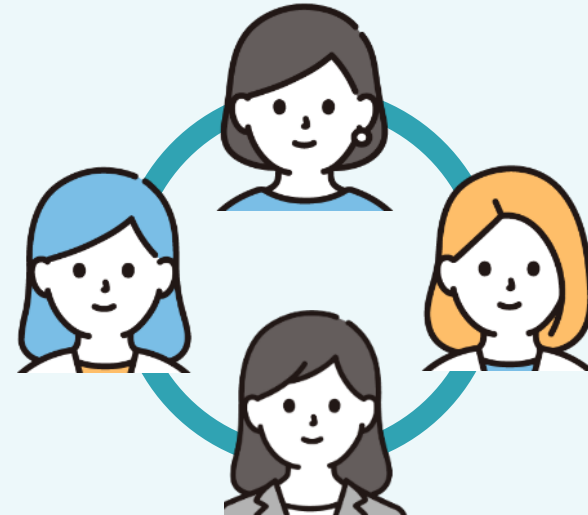
ミドルリーダーとの連携【12月17日】

主体性を発揮すること等
共通する課題意識をもつ



対話は大切！

「たのカフェS」の経験を
今後もつなげたり生かしたり
していきたい



これまで以上につながり
同じ方向に進めそう！

第5回【12月23日】

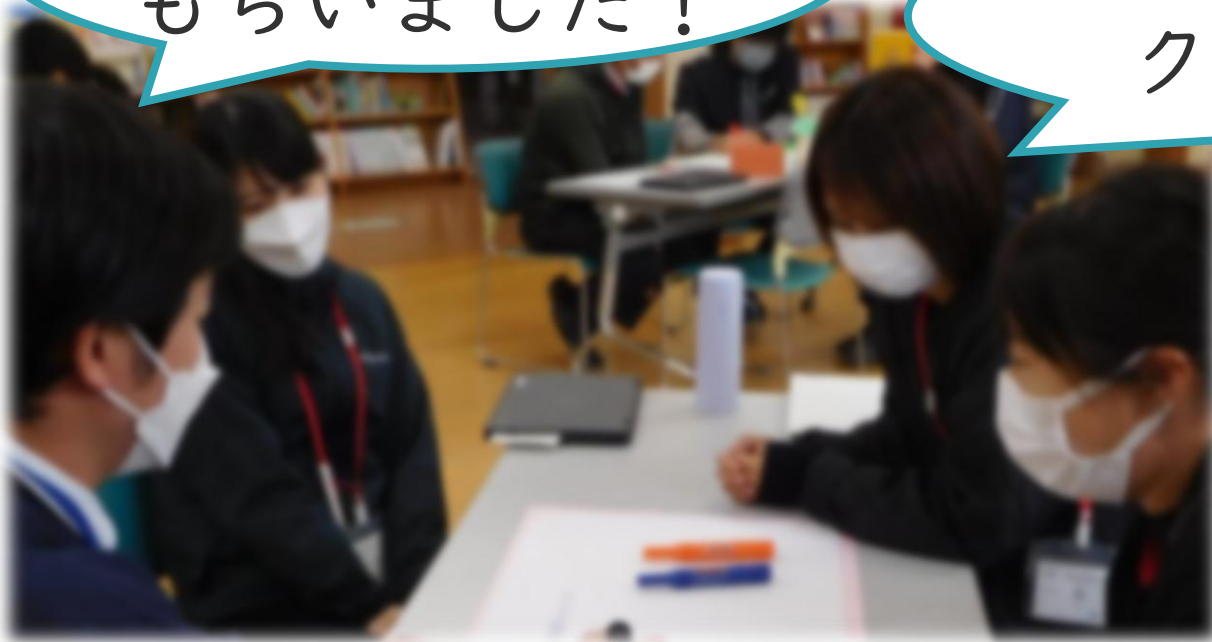


テーマに沿った対話

「たのカフェS」×私の成長×私たちの成長

アイデア
もらいました！

算数アクティビティ、
クラスでやってみました！



仲間の存在、対話のよさ、
自分の成長を振り返る

第5回【12月23日】



ミドルリーダーとして

今後の取組につなげて
いきたい。

算数を通して、みんなで
広い視野で話をすることが
できた。



「たのかフェス」が
あって良かった。



全体の場で語られたミドルリーダー3名の思い

第5回【12月23日】



ミドルリーダーとして

教職員一人一人の思いを
大切に
して
全体で
進んで
いくことが大切！



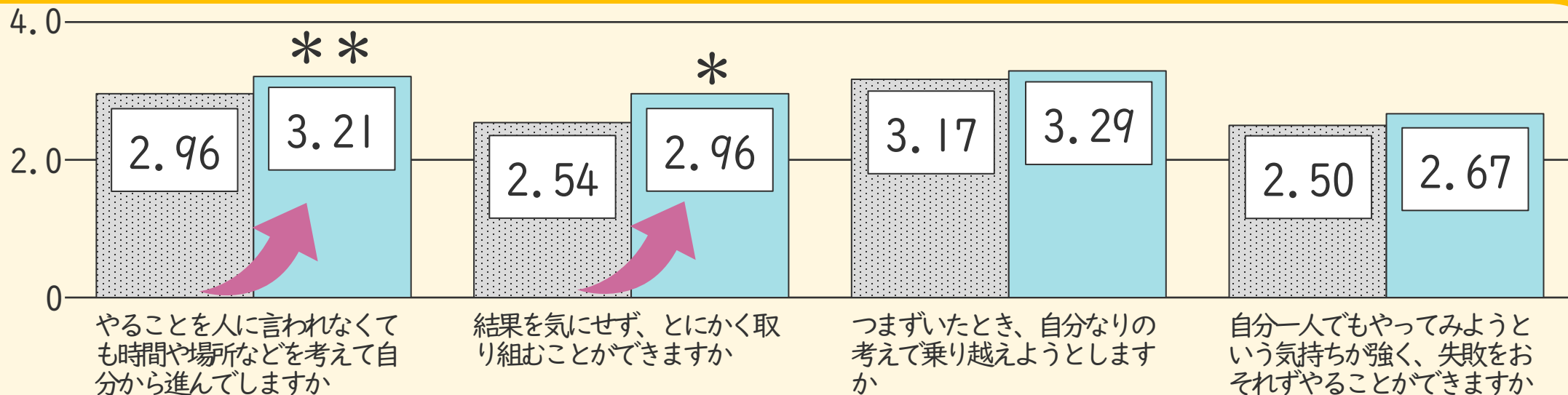
私たちの
「たのカフェS」！

分析と考察

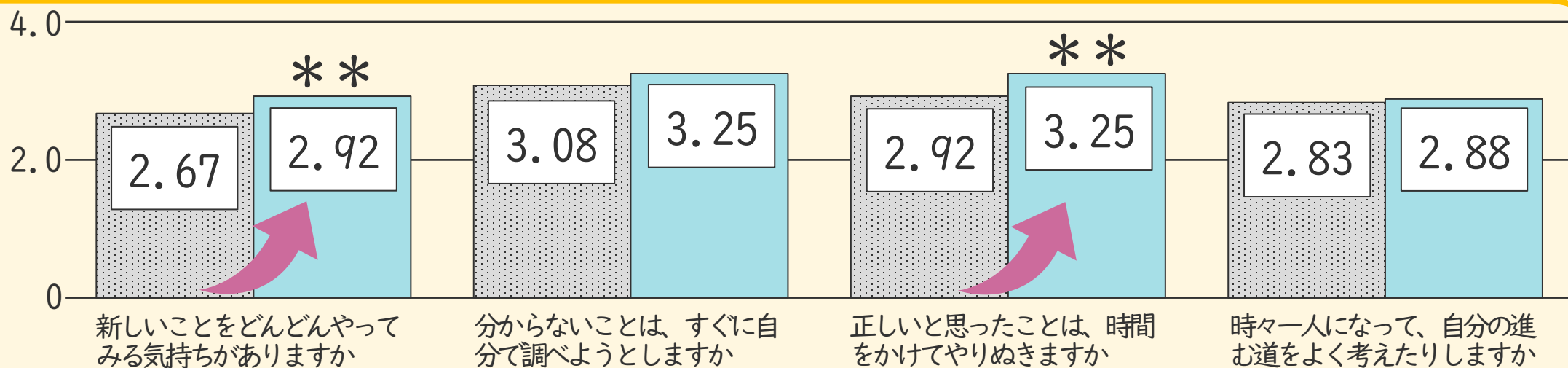
教職員の主体性

事前  事後  ** $p \leq 0.01$ * $p \leq 0.05$ (n=24)

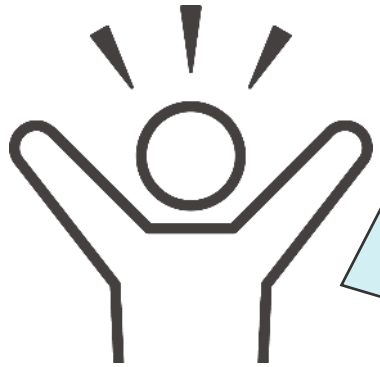
積極的な行動



好奇心



教職員の主体性



聞いたことや学んだ
ことをいくつか**実践**
することができた。



一歩踏み出す
きっかけになる
よい機会だった。



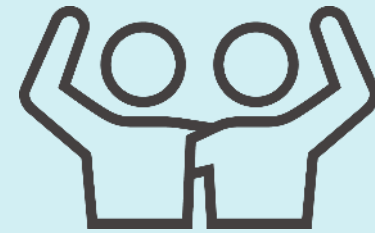
学び→行動
つながり
始めている姿

教職員の主体性

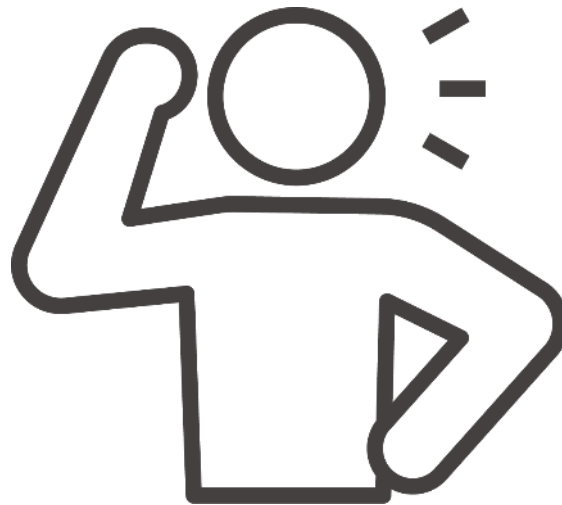
対話を通して
学びを得た



切磋琢磨する
仲間の存在



まずは、
やってみよう！



自己決定して
取り組むことが
できた

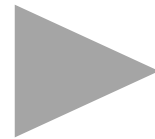
「学び合いのコミュニティ」づくり



職員集団を一言で表すと？

【実践前】

助け合い
・
明るい



【実践後】

協力
・
協働

教職員集団のよさとして注目する視点が変化

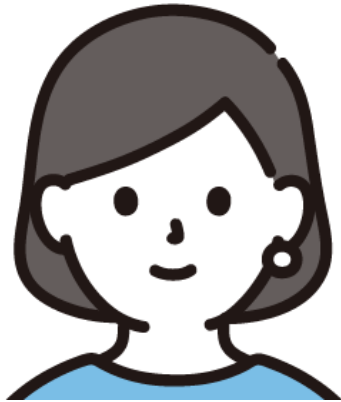
「学び合いのコミュニティ」づくり

職員集団を表す一言

互助・共助・自助



やるときはやる！



ミドルリーダーの一人

聞かれて答えるだけではなく、
問い返す発言が出てきて、
よい集団になってきている。

「学び合いのコミュニティ」づくり

対話を通して
気づきを得たり
学び合ったりする



明るく
前向き
★



主体性を発揮



教職員集団の変化を実感

研究のまとめ

研究の成果



「たのカフェS」の実践に
取り組んだ結果

学び合いの
コミュニティ



安心感



振り返り




気づきから学び合う

主体性

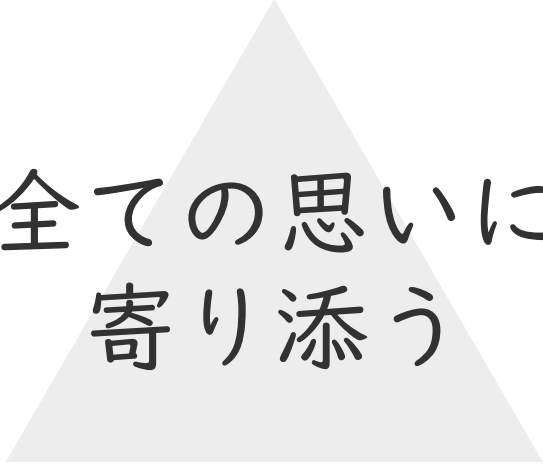
やってみよう!

研究の課題

教職員の思いから対話のテーマを設定



主体的な
参加を促す



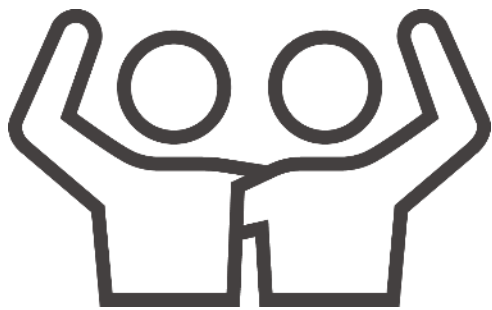
全ての思いに
寄り添う



「たのカフェS」以外にも
対話の場を広げる工夫が必要

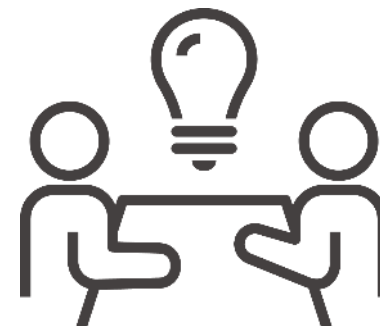
今後の方向性

ミドルリーダー
同士の対話



課題意識を共有

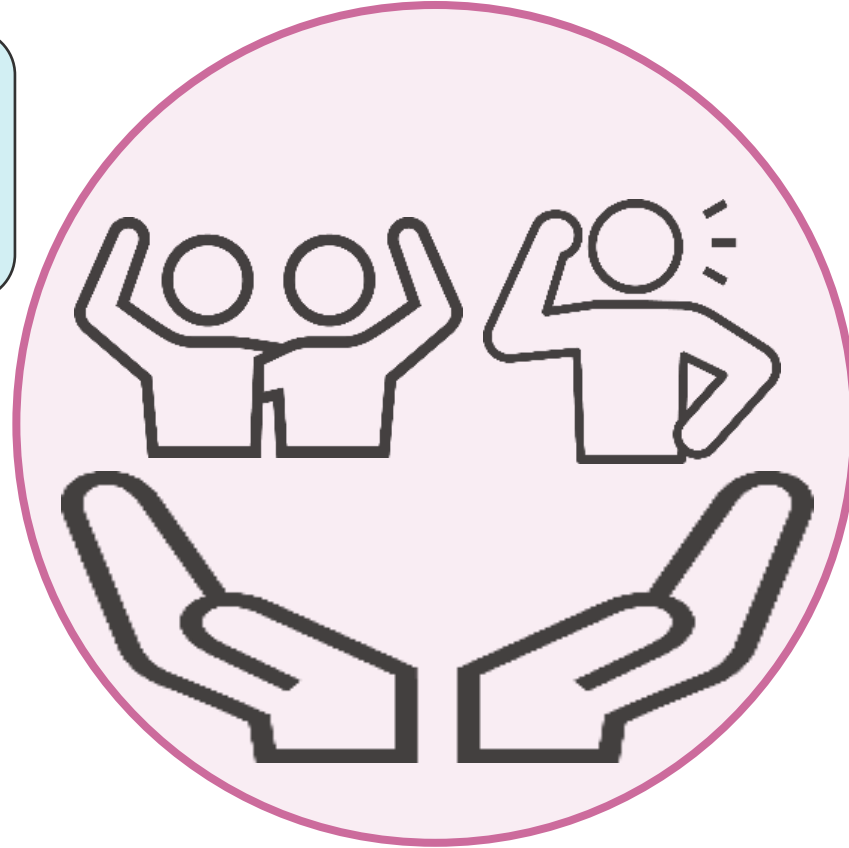
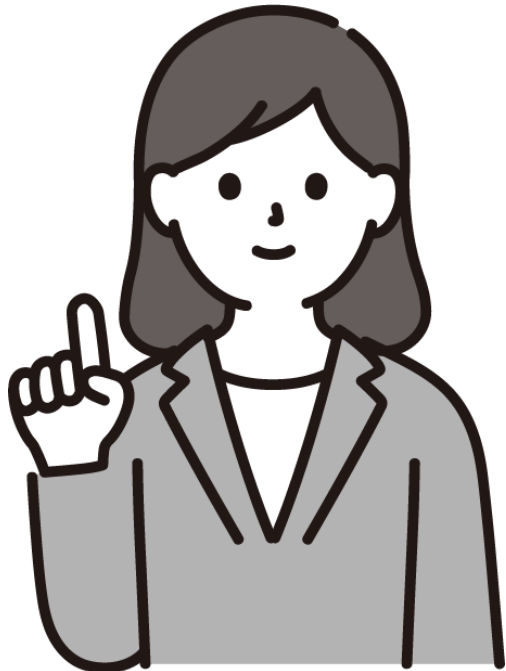
対話を通じた
学び合いが
有効な場面



探り、実践

ミドルリーダーとしての学び

「支える」
視点が大切！



つながりを生み、
「やってみよう！」を
引き出すことを
支える関わり方

今後も、場や集団づくりに
率先して関わっていきたい！

参考文献

- ・中央教育審議会（令和4年）：「「令和の日本型学校教育」を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について～「新たな教師の学びの姿」の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成～（答申）」
- ・独立行政法人教職員支援機構（令和6年）：「「研修観の転換」に向けたNITSからの提案（第一次）～豊かな気付きの醸成～」
- ・中央教育審議会（平成28年）：「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」
- ・浅海健一郎（1999）：「子どもの「主体性尺度」作成の試み」「人間性心理学研究」第17巻第2号
- ・中原淳・長岡健（2009）：「ダイアログ 対話する組織」ダイヤモンド社
- ・阿曾奈生（2023）：「生涯学習の視座から捉えた新たな研修制度下における教師の学び」「姫路大学教育学部紀要」第16号
- ・白鳥史也・石上靖芳（2023）：「教員集団の同僚性を育むための開発的実践—カフェタイムの取組を通して—」「静岡大学教育学部研究報告（人文・社会・自然科学篇）」第74号
- ・ちょんせいこ（2022）：「13歳からのファシリテーション クラスで、学校で、社会で役立つコミュニケーション力が身につく本」メイツユニバーサルコンテンツ

研究を終えて

「たのカフェS」の実践を通して、私は、先生方から、「支える」という大切な視点を与えていただいたと思っています。

私は、場の設定や仕組みを整えること、状況に応じてアプローチ方法を検討すること等、先生方を支え続けることに取り組んできました。

「たのカフェS」の対話には、先生方の思いや願いがあふれていました。夢中になって対話を楽しんでいる姿が見られたり、「やってみよう！」や「やってみたよ！」との声も多く聞けたりしたことが、とても嬉しかったです。

今後も、「支える」視点をもったミドルリーダーとして、田野浦小学校の先生方と力を合わせ、共に進んでいきます。

